

四国産スゲ属植物（Ⅱ）

岡 本 香*

昭和52年9月16日受理

ま え が き

筆者は1959年以来、四国地方産のスゲ類を採集調査して、1970年にこの地方で採集された59種3変種の分布などの概要について報告した。この稿は1977年8月現在、石鎚山と剣山の山系で採集確認された42種4変種のスゲ類について、その目録などを記載する。

調査地域の概要

この調査地域は、国定公園となっている石鎚山と剣山を中心とした地域である。これらの山は表日本気候で、深い森林におおわれて、古来日本の霊山の一つに数えられる。また信仰登山の観光地として注目されている。

石鎚山周辺地域

この地域は石鎚山（1981m）を中心に、およそ東に子持権現山（1678m）・瓶ヶ森山（1896.5m）、西に西の冠岳（1904m）・堂ヶ森（1689m）、南に面河山（1532m）・五代ヶ森（1706.7m）、北に三ヶ森（1377.6m）などで1300m以上の山群に囲まれている。石鎚山は西日本の最高峰であり、四国西部の中央にあって、地質は結晶片岩を基盤として、礫岩、砂岩、頁岩などがみられる。植物は暖帯から寒帯の植物が豊富で、石鎚山の特産植物としてイシズチウスバアザミ・イシズチカラマツ・イシズチコウボウ・イシズチコゴメグサ・イシズチザサ・イシズチテンナンショウ・イシズチノガリヤス・イシズチボウフウなどが生育する。この地域の調査は、西の川一成就社一夜明峠一二の嶺一頂上一愛大小屋一面河溪を中心に採集調査した。

剣山周辺地域

この地域は剣山（1954.7m）を中心に、東に天神丸（1631.5m）、西に塔の丸（1713m）・三嶺（1893.4m）、南に次郎笈（1929m）・新九郎山（1635.3m）などで1600m以上の山群に囲まれている。剣山は四国第二の高峰で、四国東部の中央にあって、地質は主として古生層からなり、結晶片岩、砂岩、石灰岩などがみられる。植物はブナ林やシコクシラベ林などの原生林が残存し、頂上一帯は隆起準平原と呼ばれて、イブキトラノオ・オヤマリンドウ・コモノギク・シコクザサ・シコクフウロ・ショウジョウバカマ・タカネオトギ

* 岡山理科大学理学部基礎理学科

リ・トゲアザミ・ホソバシュロソウ・マイズルソウなどが生育する草原となっている。剣山の特産植物としてケンザンデンダ・ツルギハナウドなどがある。この地域の調査は、(1)貞光―剣橋―夫婦池―見の越―剣山、(2)穴吹―コリトリー―の森―剣山、(3)池田―名頃―見の越―剣山の3コースで、一般の登山コースに沿って採集調査した。

スゲ属植物目録

ここに収録したスゲ類は、1959年から1977年に採集したもので、これらの標本は岡山理科大学生物學教室の標本室に保存されている。

1. *Carex alterniflora* Fr. (オオイトスゲ)

石鎚山：西の川・成就社・前社森・夜明峠・登山口（面河溪側以下省略）・シラザ峠・子持権現山・瓶ヶ森山。剣山：見の越。

2. *C. alterniflora* Fr. var. *aureo-brunnea* Ohwi (チャイトスゲ)

石鎚山：西の冠岳。

3. *C. autumnalis* Ohwi (オオナキリスゲ)

剣山：名頃。

4. *C. blepharicarpa* Fr. (ショウジョウスゲ)

石鎚山：西の川・前社森・夜明峠・二の鎖・頂上・土小屋・西の冠岳・愛大小屋・面河山・登山口・関門・手箱山・筒上山・岩黒山・伊吹山・シラザ峠・瓶ヶ森山。剣山：剣橋・夫婦池・見の越・間者牢・大剣神社・頂上・経塚森・二の森・一の森・富士の池・コリトリ。

5. *C. capillacea* Boott (ハリガネスゲ)

石鎚山：西の川。

6. *C. chrysolepis* Fr. et Sav. (コイワカンスゲ)

石鎚山：頂上。剣山：経塚森。

7. *C. ciliato-marginata* Nakai (ケタガネソウ)

石鎚山：登山口。

8. *C. conica* Boott (ヒメカンスゲ)

石鎚山：西の川・成就社・面河山・登山口・関門。剣山：剣橋・夫婦池・見の越・間者牢・頂上・一の森・富士の池・コリトリ。

9. *C. curvicollis* Fr. et Sav. (ナルコスゲ)

石鎚山：西の川・登山口・関門。剣山：剣橋・見の越・名頃・富士の池・コリトリ。

10. *C. dimorpholepis* Steud. (アゼナルコ)

石鎚山：登山口。剣山：名頃。

11. *C. discoidea* Boott (ヒメアオスゲ)

石鎚山：二の鎖。剣山：見の越。

12. *C. dispalata* Boott (カサスゲ)

剣山：剣橋・コリトリ.

13. *C. dissitiflora* Fr. (ミヤマジュズスゲ)

石鎚山：頂上・シラザ峠・子持権現山.

14. *C. doniana* Spreng. (シラスゲ)

石鎚山：成就社・前社森・夜明峠・登山口. 剣山：剣橋・見の越・名頃・頂上・一の森・富士の池.

15. *C. duvaliana* Fr. et Sav. (ケスゲ)

石鎚山：登山口・関門. 剣山：名頃.

16. *C. fernaldiana* Lév. et Van. (イトスゲ)

石鎚山：前社森・夜明峠・二の鎖・頂上・西の冠岳・愛大小屋・面河山・登山口・関門・土小屋・伊吹山・岩黒山・丸滝山・筒上山・手箱山. 剣山：見の越・間者牢・二の森・富士の池.

17. *C. filipes* Fr. et Sav. var. *tremula* Ohwi (ヒメジュズスゲ)

石鎚山：頂上・土小屋・伊吹山・岩黒山. 剣山：見の越・西島.

18. *C. foliosissima* Fr. Schm. (オクノカンスゲ)

石鎚山：成就社・前社森・夜明峠・二の鎖・西の冠岳・愛大小屋・面河山・登山口・岩黒山・筒上山・手箱山. 剣山：見の越.

19. *C. forficula* Fr. et Sav. (タニガワスゲ)

石鎚山：西の川・登山口・関門.

20. *C. gibba* Wahlenb. (マスクサ)

石鎚山：西の川・関門. 剣山：剣橋・夫婦池・見の越・富士の池・コリトリ.

21. *C. grallatoria* Maxim. (ヒナスゲ)

石鎚山：夜明峠・二の鎖・頂上・西の冠岳・愛大小屋・御来光の滝・面河山・手箱山・筒上山・岩黒山・瓶ヶ森山. 剣山：間者牢・頂上.

22. *C. hakonensis* Fr. et Sav. (コハリスゲ)

石鎚山：二の鎖・シラザ峠・面河山. 剣山：夫婦池・見の越・富士の池.

23. *C. ischnostachya* Steud. (ジュズスゲ)

石鎚山：西の川・成就社・前社森・夜明峠・登山口・関門. 剣山：剣橋・夫婦池・見の越・間者牢・一の森・富士の池・コリトリ.

24. *C. japonica* Thunb. (ヒゴクサ)

石鎚山：西の川・成就社・登山口・関門・岩黒山・シラザ峠・子持権現山. 剣山：剣橋・夫婦池・見の越・一の森・富士の池.

25. *C. kiotensis* Fr. et Sav. (テキリスゲ)

石鎚山：西の川・成就社・前社森・夜明峠・二の鎖・頂上・西の冠岳・愛大小屋・土小

屋・面河山・登山口・関門・岩黒山・筒上山・手箱山．剣山：見の越・間者半・二の森・一の森・富士の池・コリトリ．

26. *C. lanceolata* Boott (ヒカゲスゲ)

石鎚山：西の川・成就社・土小屋・面河山・登山口・関門．剣山：剣橋・夫婦池・見の越・頂上・二の森・一の森・富士の池・コリトリ．

27. *C. leucochlora* Bunge (アオスゲ)

石鎚山：西の川・成就社・西の冠岳・関門・子持権現山・瓶ヶ森山．剣山：剣橋・夫婦池・見の越・富士の池・コリトリ．

28. *C. makinoensis* Fr. (イワカンスゲ)

石鎚山：頂上・西の冠岳．剣山：見の越・間者半．

29. *C. maximowiczii* Miq. (ゴウソ)

石鎚山：西の川・関門．剣山：剣橋・夫婦池・見の越・富士の池・コリトリ・名頃

30. *C. mollicula* Boott (ヒメシラスゲ)

石鎚山：西の川・成就社・二の鎖・西の冠岳・関門・土小屋・伊吹山・子持権現山・瓶ヶ森山．剣山：西島・富士の池・コリトリ．

31. *C. morrowii* Boott (カンスゲ)

石鎚山：二の鎖・西の冠岳・面河山・登山口・関門・伊吹山．剣山：見の越．

32. *C. multifolia* Ohwi (ミヤマカンスゲ)

石鎚山：成就社・前社森・夜明峠・二の鎖・頂上・西の冠岳・面河山・登山口・関門・伊吹山・シラザ峠・子持権現山・瓶ヶ森山．剣山：剣橋・見の越．

33. *C. nakiri* Ohwi (ナキリスゲ)

石鎚山：西の川・成就社・前者森・夜明峠・二の鎖・西の冠岳・愛大小屋・面河山・登山口・関門．剣山：剣橋・夫婦池・見の越・頂上・二の森・富士の池・コリトリ・名頃．

34. *C. nervata* Fr. et Sav. (シバスゲ)

石鎚山：西の川．

35. *C. onoei* Fr. et Sav. (ヒカゲハリスゲ)

石鎚山：二の鎖・西の冠岳．

36. *C. otaruensis* Fr. (オタルスゲ)

石鎚山：西の冠岳・愛大小屋・関門．

37. *C. oxyandra* Kudo (ヒメスゲ)

石鎚山：夜明峠・二の鎖・頂上・土小屋・岩黒山・伊吹山・瓶ヶ森山・筒上山・手箱山．剣山：見の越・西島・頂上・一の森．

38. *C. pachygyna* Fr. et Sav. (ササノハスゲ)

石鎚山：成就社．

39. *C. phacota* Spreng. var. *gracilispica* Kükenth. (ヒメゴウソ)

石鎚山：西の川・成就社．剣山：見の越．

40. *C. reinii* Fr. et Sav. (コカンスゲ)

石鎚山：西の川・成就社・二の鎖・面河山・登山口・関門・シラザ峠．剣山：夫婦池・見の越・間者半・コリトリ．

41. *C. sachalinensis* Fr. Schm. var. *longiuscula* Ohwi (ミヤマアオスゲ)

石鎚山：二の鎖．

42. *C. satsumensis* Fr. et Sav. (アブラシバ)

石鎚山：紅葉岩．剣山：見の越．

43. *C. scabriculum* Ohwi (フサナキリスゲ)

石鎚山：登山口・関門．剣山：剣橋．

44. *C. siderosticta* Hance (タガネソウ)

石鎚山：前社森・夜明峠・二の鎖・面河山・登山口．剣山：夫婦池・見の越・間者半・頂上・一の森・富士の池・コリトリ．

45. *C. sikokiana* Fr. et Sav. (ベニイトスゲ)

石鎚山：愛大小屋・面河口・登山口．剣山：剣橋・名頃．

46. *C. transversa* Boott (ヤワラスゲ)

石鎚山：愛大小屋・登山口．

考察および結言

四国地方は襲速紀地帯と呼ばれ、一般に植物は暖帯産から寒帯産のものまで、種類は極めて多く、両山系地域には特有の植物が生育している。この稿は主に石鎚山と剣山での採集調査を取扱った。両山系のスゲ類については、既に筆者の「四国産スゲ属植物」で、その一部を報告している。これらの山系の調査結果は、42種4変種のスゲ類を確認した。石鎚山では40種4変種、剣山では34種2変種を採集した。現在までの調査から、石鎚山だけに採集されたスゲ類はオタルスゲ・ケタガネソウ・ササノハスゲ・シバスゲ・タニガワスゲ・チャイトスゲ・ハリガネスゲ・ヒカゲハリスゲ・ミヤマアオスゲ・ミヤマジュズスゲ・ヤワラスゲの9種2変種、剣山だけではオオナキリスゲ・カサスゲの2種であるが、今後の調査では、これらのスゲ類が両山系地域で採集されると思われる。イワカンスゲ・コイワカンスゲ・チャイトスゲ・ヒメジュズスゲ・ヒメスゲ・ミヤマアオスゲなどは、本州の中国地方では採集されていない。両山系地域は近年の土地開発に伴い、観光化されているが、まだ原生林の残存がみられる。このことはスゲ類の採集調査により、種数の増加と共に新種や新産地の発見などの可能性もある。さらに両山系は襲速紀地帯の重要な地域であり、スゲ類が植生の構成種として、群落生態学上から興味深い貴重な地域ともいえるので、今後も調査を続けて、この両山系におけるスゲ類の分布と生態を明らかにしたい。

参 考 文 献

石原保・他 (1960) 石鎚山系の自然と人文。松山，愛媛新聞社。

岡本 香 (1965) Taxonomic study of the *Carex* in the western Honshu of Japan. 岡山理科大学紀要 **1**: 1—105.

——— (1970) 四国産スゲ属植物。岡山理科大学紀要 **6**: 155—170.

大井次三郎 (1975) 日本植物誌。東京，至文堂。

岡本 香 (1976) 中国地方における高原のスゲ属植物。岡山理科大学紀要 **11**: 67—74.

——— (1976) 中国地方における峡谷のスゲ属植物。岡山理科大学蒜山研究所報告 **2**: 33—42.

——— (1977) 中部地方における高原のスゲ属植物。岡山理科大学紀要 **12**: 85—96.

——— (1977) 後山・那岐山系のスゲ属植物。岡山理科大学蒜山研究所研究報告 **3**.

The *Carex* species of Shikoku in Japan (II)

Kaori OKAMOTO

(Department of Fundamental Natural Science,
Okayama College of Science, Okayama, Japan)

Summary

This study was designed to know the flora and distribution of *Carex* species in Shikoku of Japan. The collection and investigation of *Carex* species were carried out during 1959–1977.

Mt. Ishizuchi and Mt. Tsurugi have been known as a seminational park with the mountain worship of historic relics and the natural views. At present, 42 species and 4 varieties of *Carex* were recognized in the mountain systems of Mt. Ishizuchi and Mt. Tsurugi.